



## 初夏から秋にかけて注意が必要な気道アレルギーの原因はさまざまです 原因アレルゲンの検索に特異的 IgE 検査をご提案します

初夏から秋にかけて注意が必要なアレルゲンは、通年性のダニやペットに加えイネ科の花粉やカビ、昆虫などになります(図1)。花粉や昆虫、カビなどの原因アレルゲンの特定は、生活指導(抗原の除去、回避指導)の基本となり患者さんとのコミュニケーションや治療に役立ちます<sup>1)</sup>。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹木			ハンノキ								スギ	
			スギ									
			ヒノキ		シラカンバ							
草本類 イネ科					ハルガヤ							
					カモガヤ							
					オオアワガエリ							
草本類 キク科									ギョウギシバ			
									ブタクサ			
									ヨモギ			
カビ							クラドスポリウム アルテルナリア ペニシリウム アスペルギルス				クラドスポリウム アルテルナリア ペニシリウム アスペルギルス	
							ガ・ユスリカ				ガ・ユスリカ	
室内塵	ハウスダスト・ダニ・ネコ・イヌ・ガ・ゴキブリ											

図1 アレルゲンカレンダー

植生および時期は地域により若干異なります

### 花粉 イネ科

カモガヤなどイネ科の花粉は花粉症の原因となり4月～10月頃花粉を飛散させます<sup>2)</sup>。

カモガヤ花粉症は重複感作が多く、スギ花粉症の半数がカモガヤにも感作しているとの報告があります<sup>3)</sup>。河川敷や空き地・道端と、広く身近な場所に自生しています。



### 花粉 キク科

秋の花粉症の原因となる主な花粉はブタクサやヨモギなどの雑草類で8月～11月頃花粉を飛散させます。

同じキク科であるブタクサとヨモギは、共通抗原性がみられるものの、特異的IgE検査結果は、完全には一致していません。単独陽性例も存在するためブタクサ、ヨモギの両花粉アレルゲンの測定が重要と考えられます<sup>4)</sup>。これらは空き地や道端、河川敷など身近な場所でみられます。



### カビ

カビアレルゲンは梅雨時期と秋に増加します<sup>7)</sup>。

カビは湿気が多い浴室や台所、結露した壁などに発生するクラドスポリウム(クロカビ)やアルテルナリア(ススカビ)と、乾燥した場所(靴箱や押し入れなど)に発生するアスペルギルス(コウジカビ)やペニシリウム(アオカビ)があり、これら生活環境にみるカビは湿度状態により異なります<sup>7)</sup>。



アルテルナリア(ススカビ)  
©カビ相談センター

イネ科やキク科花粉は、スギ花粉などの樹木に比べ花粉の飛散距離が数十メートルと短いため、近づかないことで回避が可能です<sup>5)</sup>。また、花粉のアレルゲンと共通抗原性がある食物にもアレルギー症状を示すことがあり、(花粉-食物アレルギー症候群:PFAS)と呼ばれます(図2)。

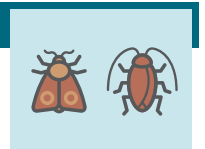
飛散時期	花粉	花粉と関連性のある主な食物
春	1～6月 ハンノキ シラカンバ	リンゴ・モモ・大豆(豆乳)など
	2～4月 スギ	トマト
夏	4～10月 オオアワガエリ カモガヤ	メロン・スイカ・キウイなど
秋	7～11月 ヨモギ	セロリ・ニンジンなど
	ブタクサ	メロン・スイカなど

図2 花粉-食物アレルギー症候群(PFAS)に関連する主な原因花粉と食物<sup>2,6)</sup>

### 昆虫

ガは、春から秋にかけて(特に秋に多く)屋内外で見られます<sup>8)</sup>。

ガは、屋内では穀類やお菓子、ペットフードなどの食品に発生するメイガ、ウールなどの動物性繊維を使用した衣類に発生するイガ(衣蛾)が見られます<sup>8)</sup>。ガは、幼虫のフンや成虫の鱗粉(リンパン)、粉碎され微細化した死骸がアレルギーの原因となります<sup>8)</sup>。



#### 参考文献

- 1) 日本内科学会雑誌 93(10), 12018, 2004
- 2) 鼻アレルギー診療ガイドライン—通年性鼻炎と花粉症— 2020 年度版(改訂第9版)
- 3) 耳鼻臨床 94(12), 1073-1078, 2001
- 4) アレルギーの臨床 9(2), 139-145, 1989
- 5) アレルギー-免疫 13(9)1254-1257, 2006
- 6) J Environ Dermatol Cutan Allergol 1, 124-130, 2007
- 7) アレルギー-免疫 54(6), 531-535, 2005
- 8) アレルギー-免疫 7(4), 448-458, 2000

## View アレルギー-39 啓発資料のご紹介

弊社では、幅広い啓発資料をご用意しております。

待合室で患者さんがお読みいただける小冊子やポスターなど、効果的な啓発活動をサポートいたします。

啓発資料のご活用をぜひご検討ください。下記のフォームからご注文いただけます。



小冊子

資料 NO. 050

B6 サイズ/4 ページ

専用の小冊子立てのご用意もあります。



通年性ポスター

資料 NO. 520

A3 サイズ/1 ページ

### サポート資料のご案内

View アレルギー-39™ の患者さん向け資料をご用意しております。

下記 URL もしくは、下記、二次元コード経由でも資料のご注文を承ります。必要事項をご入力の上お申し込みください。

[thermofisher.com/shizai](http://thermofisher.com/shizai)



### 画像リクエストフォームのご案内

ご施設 (医療関係に限る) のホームページ用に、検査情報の提供をサポートする画像データや院内モニター用のスライドショーをご用意しております。URL もしくは二次元コード経由で必要事項をご入力の上お申し込みください。

[thermofisher.com/pic](http://thermofisher.com/pic)



リンクフリーでご利用いただける患者さん向けサイトもございます  
[thermofisher.com/39-jp](http://thermofisher.com/39-jp)

最短  
3 ステップ



必要情報入力



入力内容確認



ご提供

View アレルギー-39 は、初夏から秋にかけてアレルギー量が増加する花粉、昆虫、カビ、ダニや食物アレルギーも含まれている検査です  
検査センターへご依頼ください

### View アレルギー-39 測定項目一覧

吸入系・その他				食物系							
室内塵	ヤケヒョウヒダニ ハウスダスト1		イネ科 植 物	カモガヤ オオアワガエリ		卵	卵白 オボムコイド		豆 類	大豆 ピーナッツ	
動 物	ネコ皮膚 イヌ皮膚	 	雑 草	ブタクサ ヨモギ	 	牛 乳	ミルク		肉 類	鶏肉、牛肉 豚肉	 
昆 虫	ガ ゴキブリ	 	真 菌	アルテルナリア (ススカビ) アスペルギルス (コウジカビ) カンジダ、マラセチア (馬)	  	穀 類	小麦 ソバ 米	  	魚 類	マグロ、サケ サバ	  
樹 木	スギ、ヒノキ ハンノキ (属) シラカンバ (属)	  	職業性	ラテックス		甲殻類	エビ カニ	 	果 物	キウイ、リンゴ バナナ	  
									その他	ゴマ	

青文字はアレルギー物質を含む食品の表示義務・推奨食品に関連する項目です

Learn more at [thermofisher.com/hcp-jp](http://thermofisher.com/hcp-jp)

thermo scientific

サーモフィッシャーダイアグノスティクス株式会社

〒108-0023 東京都港区芝浦 4-2-8 住友不動産三田ツインビル東館

✉ [info-jp.idd@thermofisher.com](mailto:info-jp.idd@thermofisher.com)